

今冬の豪雪を振り返る

1月8日から10日にかけて断続的に雪が降り続き、9日午前9時までの24時間降雪量が全国1位の51cmとなりました。昨年の少雪から一転して記録的な大雪となったことから、10日に豪雪対策本部を設置しました。

その後も警報を伴う大雪が続き、2月7日には観測史上3位となる172cmを記録し、62年ぶりとなる大雪による災害救助法が適用されました。町では、要援護世帯のうち放置すれば倒壊の恐れがある住家を対象に除排雪を実施したほか、対象外となった自力での除排雪が困難な高齢者世帯を福島レッドホープスの選手や町職員が訪問して、除排雪を行いました。



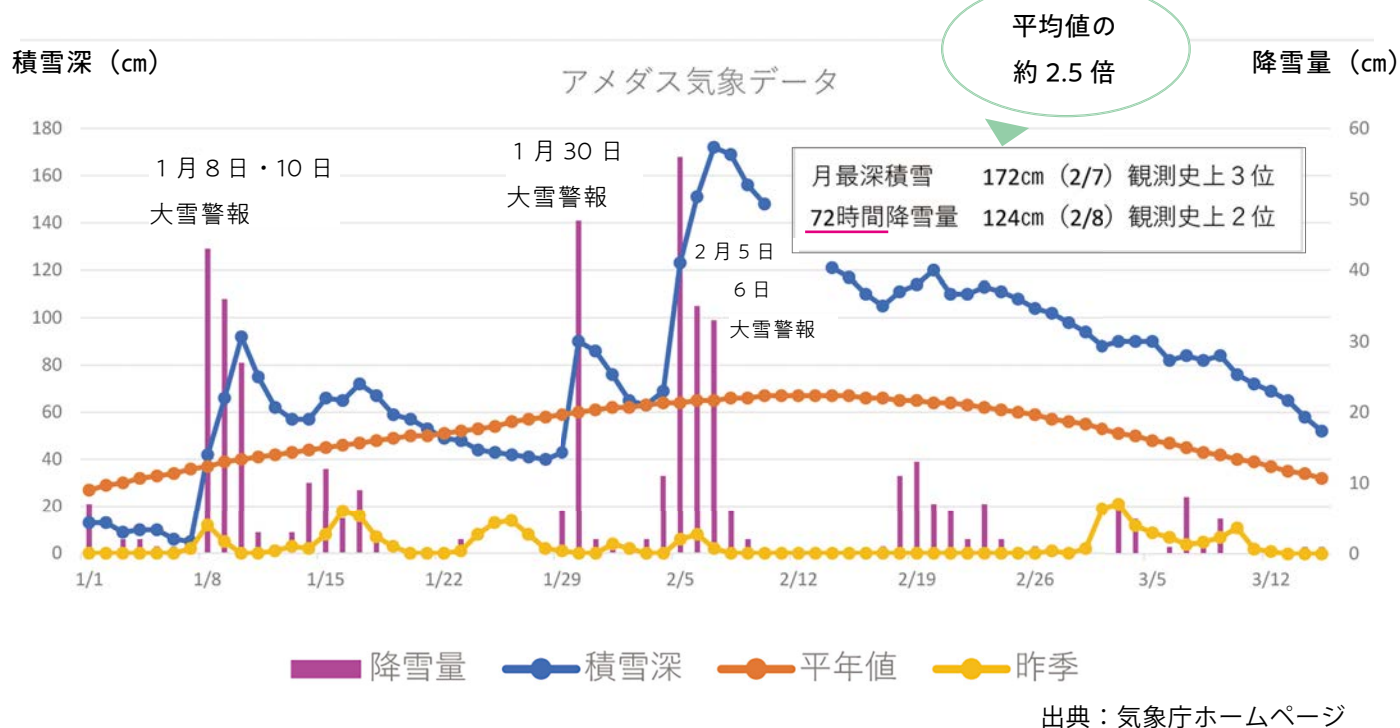
▲ 福島レッドホープスの選手の皆さんに協力いただきました

今冬を通して、屋根雪の落雪や屋根からの落下など、5件の人的被害が発生しましたが、一緒に作業していた人や近所の皆さんの協力によって大事に至らずに済んでいます。また、ガラス戸や屋根先の破損など住家の一部損壊が多数確認されていますが、全壊・半壊被害はありませんでした。

(3月15日現在)



▲ 自力での除排雪が困難な高齢者宅を町職員が訪問して除排雪を行いました



〈最大積雪深〉

1位	213cm	昭和56年2月
2位	183cm	昭和56年3月
3位	172cm	令和7年2月
4位	166cm	平成25年1月
5位	157cm	平成27年2月

〈最大72時間降雪量〉

1位	125cm	平成22年12月
2位	124cm	令和7年2月
3位	122cm	平成27年3月
4位	121cm	昭和63年1月
5位	115cm	平成13年1月

暖冬が続く「昔と比べて雪が少なくなっ
た」とよく言われるようになりましたが、
近年の雪の降り方は、短い期間に一気に降
り積もる「ドカ雪」が特徴です。
その一因に温暖化が挙げられ、風水害と
あわせて「いつか」ではなく「いつでも」
季節に関わらず私たちの生活を脅かす存在
となっています。

今冬の豪雪を教訓に、日頃から個人や地
域、団体、行政が一体となって話し合い、そ
れぞれの役割や備えを確認しておくことが
重要です。

◆り災（被災）証明書を 発行しています

り災（被災）証明書は、自
然災害により家屋や家財など
に被害があった場合、被害状
況を確認し、その内容を証明
するものです。保険金の請求
等で証明書が必要な場合は申
請してください。

【申請に必要なもの】

- ①被災状況の写真
- ②本人確認書類（マイナ
ンバーカード・運転免許証等）

※すでに被災した建物などを
修繕した後の申請は、被害
の程度が確認できないた
め、証明書を発行するこ
とができないことがあります
ので、ご注意ください。

【問い合わせ先】

町民税務課
町民生活係
☎45-2215